

意見・提案シート

◆審議会の検討内容（今回・次回以降）についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、環境政策課にご提出ください。次回開催の10日前に届いたものは、審議会で資料として配付します。

素案（たたき台）について、7月10日の審議を傍聴したうえでの意見を提出させていただきます。

・目次の最初「計画策定の背景」が大きな地球温暖化の話で、市民が読み始めるには、なじみにくいのではないかと。前計画の「計画改定の趣旨、基本的事項」の方が理解しやすい。地球温暖化の説明は、資料で良いのではないかと？

・第2章の「計画策定の基本的事項」も「1. 計画策定の目的」で初めから聞きなれない「緩和策」「適応策」の説明になっており、前計画の「1.1.2 計画の目的」の方がシンプルで分かりやすい。全体的に、コンサルが大上段に構えて作っている印象を受ける。

・審議の中で池上会長からもコメントが出たが「5. 対象とする温室効果ガス」を列記した項目と「7. 計画期間と進捗管理」の記述では、「進捗管理」の対象が全ての温室効果ガスに読み取れる。

・どこかで明示されるのかもしれないが、この計画の目標をはっきりさせて欲しい。

CO2削減量については、2年のデータ集計遅れ等の理由で前計画の評価がきちんとできない中で、新たに基準年度を設定して2030年度の目標数値を立てるのはなかなか難しいと思うが、全体的なCO2削減量やエネルギー消費削減量は都の動きを参考にグロスで設定し、小金井市としては個別の目標設定を行ったかどうか？たとえば、太陽光発電量。現在は、補助金制度があるというのがこれまでの対策で、実質的にはエコキュートがほとんどのようだ。何がどれだけCO2削減に寄与しているか計るのは難しいところだが、注力点はいずれにしても啓発だと考える。

・第3章「4. 市の特性・課題及び計画策定の方向性」

内々の資料との話もあったが、①家庭部門「家庭への再生エネルギー設備の導入は、賃貸住宅等を中心に進んでいない」は、どこから導かれる「課題」か？なぜ、「賃貸住宅」か？公共施設は十分進んでいるか？そもそも、市のHPで省エネ補助金画面へのアクセスがとても難しい。緑化に関する施策は、より積極的に実施する余地がある」も根拠が不明。このあたりの課題の議論を検討委員会で行って、実効性のある目標と計画の策定をお願いしたい。「エコドライブ」は、とても実効性のある施策ではなかったと聞いています。

提出日 2020年 7月 11日

氏名 林 和夫（小金井市環境市民会議 事務局）

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。無記名の場合は参考資料として委員に配布し、インターネット等での公開は行いません。

（送付先）

小金井市環境部環境政策課環境係

〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先：042-387-9817

FAX：042-383-6577 E-mail：s040199@koganei-shi.jp